

コナミ・デジQトレインに 電動ポイント 登場



▲電動ポイントの試作品。製品の色は従来のレールと同様になる。

これが出るのを心待ちにしていた……と言う人も多いのではないだろうか。コナミ MICROiR デジQトレインに、ついに電動ポイントが登場する。

ご存知の通りデジQトレインの特徴は個別な電気配線など一切不要で、高度で複雑な運転が楽しめることだ。赤外線コントロール技術によって、手元のコントローラーの操作によって列車の加速・減速や進行方向の切り換えが自在に行なえる。で、たとえば対向列車の交換や、各停を待避させて急行を先行させるなどのリアルな運転を楽しむことができるのは当然だ。これまで各種の手動ポイントなどが発売されており、比較的小さなレイアウトの運転には困らなかったものの、大きなレイアウトで広くにあるポイントの切り換えなどは面倒だったのも事実。電動ポイントの登場で、そんな不満も解消されるわけだ。

もちろん電動ポイントにも配線などは一切いらない。コントローラーのボタン操作で、カチャリ、カチャリと気持ちよく確実に切り換えることができる。ポイントは電池（単4×2）を動力として使い、コントローラーからの赤外線信号



▲こちらはエンドレールの試作品2種。好みの車輪の時代背景に合わせて選択できる。ヤグロも欲しいところだ。



text: RMM
photo: 岡田 聡
協力: コナミ

▲高さの電動ポイントの登場で、デジQトレインによる模型鉄道の世界が広がる。

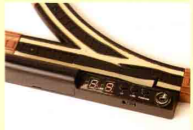
を受けて作動する仕組みだ。ポイント自体にも操作部があり、その場でも切り替えられる。ボタン操作でIDを個別に設定できる。こうして信号の混雑を防ぐと共に、コントローラーのどのボタンにどのポイントに対応させるかを自分で決められるので非常に便利だ。

ポイントにLEDを使った方向表示が付いているのも目新しい。ポイントがどちらに開いているかが一目でわかる。そして何よりも場所を選ばずレイアウト上のすべてをコントロールできるという快感！これはまさにデジタルコントロールの醍醐味だ。

電動ポイントは分岐側の田線半径が176mm、角度が45度のもの（R176-45）と、曲線半径が264mm、角度が30度のもの（R264-30）の2種があり、もちろんそれぞれに右・左がリソースされる。発売は3月下旬の予定だ。なお、手動Y字ポイントやエンドレール2種なども2月20日にリリースされる予定だ。そろそろデジQトレインで、ミニチュア鉄道の夢を実現する機会が熟してきたと言えるだろう。



▲手動Y字ポイントの試作品。レイアウトプランの幅が広がる利用価値の高いアイテムだ。



▲まさにハイテク鉄道玩具という感じ。通常操作以外にその場での切り換えもボタン操作で可能だ。



▲電動ポイントの製品イメージ。R176-45およびR264-30それぞれ右・左で計4種が3月下旬に発売される予定だ。

こちら注目!

700系B編成が入った基本運転セットだ!

デジQトレインの入門に最適な基本運転セットに、JR西日本所属の700系B編成が含まれたアイテムが登場。前頭部側面の「JR700」のロゴもくっきりシャープに再現されている。わずかな違いが、いや、わずかな違いだからこそ、これは

欲しくなりますね。青いラインのパッケージが目印だ。車輪の他、組み立てると小判形エンドレスになるレール一式とコントローラーが付属。百貨店ルートでの限定発売。価格は5,980円。X'masプレゼントにも最適だ。



▲「700系B編成基本運転セット」には、JR西日本所属の700系新編成が含まれているのが魅力だ。